

# 2022年度「東邦音楽大学・東邦音楽短期大学・東邦音楽大学大学院卒業生アンケート」集計報告

## 1. 実施概要

2023年5月吉日  
キャリア支援センター

実施日 : 令和5(2023)年3月18日(土)  
対象 : 卒業生・修了生(大学・短大・大学院生当日出席者)  
手法 : 卒業式事前控室にて全員に配布、記入後回収。

## 2. 回収状況(Q1~Q3)

【回収率】

学校種	卒業生数	回収数	回収率
大学	63	59	94%
短大	9	8	89%
大学院	8	8	100%
合計	80	75	94%

【参考: 昨年(2021年度)回収率】□

学校種	卒業生数	回収数	回収率
大学	48	47	98%
短大	17	16	94%
大学院	16	16	100%
合計	81	79	98%

当日の出席者からは100%回収であったが、当日欠席者からの回収率向上にを目指すことが課題である。

【専攻別内訳】

	大学	短大	大学院
ピアノ	7	ピアノ	1
声楽	10	ピアノ指	1
管弦打	15	声楽	2
音楽創造	2	管弦打	1
音楽療法	7	電子オル	0
教職実践	7	SSWA	0
Konzertfach	2	音楽教養	2
PACS	8	未記入	1
未記入	1		
合計	59		8

## 3. 調査結果と考察

### Q4、在学中に重点をおいた取組み(複数回答)

1. 選考実技の向上
2. 演奏活動(創作活動、実習等含む)
3. 就職活動を含む卒業後の準備
4. ボランティア活動
5. 教職員との交流
6. 友人との交流
7. 人脈をつくる
8. アルバイト
9. 特に重点を置かずにバランス良く
10. 特になし
11. その他

順位	昨年比	点数	項目	昨年点数	昨年順位
1位	=	53	1 選考実技の向上	69	1位
2位	=	26	2 演奏活動(創作活動、実習等含む)	41	2位
3位	=	25	6 友人との交流	32	3位
4位	↑3	23	3 就職活動を含む卒業後の準備	9	7位
5位	=	15	8 アルバイト	15	4位
6位	↓2	13	5 教職員との交流	15	5位
7位	↓1	9	7 人脈をつくる	12	6位
8位	=	7	4 ボランティア活動	3	8位
9位	↑1	5	9 特に重点を置かずにバランス良く	2	10位
10位	↓1	4	11 その他	3	9位
11位	=	2	10 特になし	0	11位

その他、自由記入

- ・コンクール出場、
- ・外部ミュージカル出演
- ・専門科目をさらに学んだ
- ・NHK「おかあさんといっしょ」の研究

上位3項目(「専攻実技の向上」「演奏活動」「友人との交流」)は、昨年(2021年)と同様であった。|  
4位の「就職活動を含む卒業後の準備」は、昨年より3ランクアップしており、一昨年(2020年)と同様の結果となった。  
これは卒業後の進路において昨年よりも卒業生に占める就職者の割合が高いことが影響を及ぼしていると推察される。

【参考】前年度(2021)年度の順位

順位	2020年度比	点数	項目	2020年度点数	2020年度順位
1位		69	1 選考実技の向上	85	1位
2位	↑1	41	2 演奏活動(創作活動、実習等含む)	35	3位
3位	↓1	32	6 友人との交流	44	2位
4位	↑2	15	5 教職員との交流	16	6位
5位	↑2	15	8 アルバイト	10	7位
6位	↓1	12	7 人脈をつくる	18	5位
7位	↓3	9	3 就職活動を含む卒業後の準備	19	4位
8位		3	4 ボランティア活動	6	8位
9位	↑2	3	11 その他	0	11位
10位	↓1	2	9 特に重点を置かずにバランス良く	3	9位
11位	↓1	0	10 特になし	1	10位

Q5. 学生生活を通じての人間形成に、どの分野の教育・支援の充実が望ましいか(複数回答)

- |             |           |             |           |
|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 1 演奏活動      | 2 音楽実技    | 3 音楽的知識     | 4 教職系学力   |
| 5 一般教養      | 6 語学      | 7 健康・体育     | 8 クラス担任制度 |
| 9 履修相談      | 10 キャリア支援 | 11 ボランティア活動 | 12 地域貢献   |
| 13 施設、設備、備品 | 14 その他    |             |           |

順位	昨年比	点数	項目	昨年順位	順位	昨年比	点数	項目	昨年順位
1位	↑1	42	2 音楽実技	2位	8位	↑1	8	12 地域貢献	9位
2位	↓1	36	1 演奏活動	1位	9位	=	5	11 ボランティア活動	9位
3位	↑1	33	5 一般教養	4位	10位	↓4	5	13 施設、設備、備品	6位
4位	↓1	32	3 音楽的知識	3位	11位	↑3	4	7 健康・体育	14位
5位	=	21	6 語学	5位	12位	↓1	4	9 履修相談	11位
6位	↑1	12	10 キャリア支援	7位	13位	=	1	8 クラス担任制度	13位
7位	↑1	11	4 教職系学力	8位	14位	↓2	0	14 その他	12位

「音楽実技」、「演奏活動」は、過去4年においても1位または2位となっており、音楽大学という本学の特色が反映された結果といえる。10位の「施設、設備、備品」は4ランクダウンとなっているが、単年の結果のみでは背景の解明は難しく今後の経過に留意したい。一方、11位の「健康・体育」は昨年比では3ランクアップであるが、昨年が一昨年(2020年)比で14ランクダウンという特異性があったため今後の推移を注視したい。

【参考】前年度(2021)年度の順位

順位	2020年比	点数	項目	2020年順位	順位	2020年比	点数	項目	2020年順位
1位	↑1	49	1 演奏活動	2位	8位	↓1	12	4 教職系学力	7位
2位	↓1	46	2 音楽実技	1位	9位	↑1	8	11 ボランティア活動	10位
3位	↑1	46	3 音楽的知識	4位	9位	↑3	8	12 地域貢献	12位
4位	↓1	24	5 一般教養	3位	11位		6	9 履修相談	11位
5位		23	6 語学	5位	12位	↓2	5	14 その他	14位
6位		17	13 施設、設備、備品	6位	13位		4	8 クラス担任制度	13位
7位	↑1	13	10 キャリア支援	8位	14位	↓6	3	7 健康・体育	8位

Q6. 本学で身につけることができた力

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 身についた            | 2. どちらかといえば身についた |
| 3. どちらかといえば身につかなかった | 4. 身につかなかった      |

- |    |                       |                           |
|----|-----------------------|---------------------------|
| 項目 | (1) 専攻分野中心の知識と技能      | (8) 広い視野をもつ国際感覚 (※大学・院のみ) |
|    | (2) 広範な文化の理解          | (9) 自己管理能力                |
|    | (3) 音楽芸術のみに偏らない汎用的な能力 | (10) 多様な人々と協力して行動するチームワーク |
|    | (4) コミュニケーション能力       | (11) 自ら学習を続ける生涯学習力        |
|    | (5) 課題の発見、分析、解決力      | (12) 社会に貢献できる社会的責任        |
|    | (6) プレゼンテーション能力       | (13) リーダーシップ              |
|    | (7) 問題を探求する姿勢         |                           |

項目	大学				短大				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 専攻分野中心の知識と技能	38	17	0	1	7	1	0	0	6	2	0	0
(2) 広範な文化の理解	29	23	3	1	3	4	1	0	3	4	0	0
(3) 音楽芸術のみに偏らない汎用的な能力	30	22	4	0	4	2	1	0	5	1	2	0
(4) コミュニケーション能力	31	19	4	2	5	2	1	0	6	2	0	0
(5) 課題の発見、分析、解決力	32	21	3	0	3	4	1	0	6	2	0	0
(6) プレゼンテーション能力	25	23	8	0	2	4	2	0	4	3	1	0
(7) 問題を探求する姿勢	38	13	4	1	5	2	1	0	5	3	0	0
(8) 広い視野をもつ国際感覚 (※大学・院のみ)	23	24	9	0					6	1	1	0
(9) 自己管理能力	30	19	7	0	4	3	1	0	4	4	0	0
(10) 多様な人々と協力して行動するチームワーク	32	21	2	1	4	3	1	0	5	3	0	0
(11) 自ら学習を続ける生涯学習力	37	16	1	2	5	3	0	0	6	2	0	0
(12) 社会に貢献できる社会的責任	23	25	6	2	4	3	1	0	5	3	0	0
(13) リーダーシップ	21	19	11	5	3	4	1	0	3	2	2	1

※「未回答」を除いた有効回答

すべての項目において、大学、短大、大学院ともに、「身についた」、「どちらかといえば身についた」が高い割合を占める結果であった。大学では、13項目中11項目で「身についた」の割合が最も高く、昨年の5項目を上回る結果となった。また、昨年同様に「(1) 専攻分野中心の知識・技能」以外でも、「(9) 自己管理能力」、「(10) 多様な人々と協力して行動するチームワーク」、「(11) 自ら学習を続ける生涯学習力」ではすべての学校種において「身についた」が最も高く、本学の音楽を主軸とした学びが、これらの技能修得にも活かされていることが伺える。

【昨年度回答】

項目	大学				短大				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 専攻分野中心の知識と技能	34	12	1	0	13	3	0	0	11	3	1	1
(2) 広範な文化の理解	17	24	5	1	6	10	0	0	7	5	3	1
(3) 音楽芸術のみに偏らない汎用的な能力	20	23	4	0	6	10	0	0	7	7	1	1
(4) コミュニケーション能力	20	23	4	0	5	9	2	0	6	9	0	1
(5) 課題の発見、分析、解決力	20	23	3	1	4	11	1	0	9	4	2	1
(6) プレゼンテーション能力	15	24	5	3	4	6	5	1	7	5	3	1

(7) 問題を探求する姿勢	<b>25</b>	19	0	3	6	<b>8</b>	1	1	<b>9</b>	5	0	2
(8) 広い視野をもつ国際感覚 (※大学・院のみ)	13	<b>27</b>	4	3	0	0	0	0	5	<b>6</b>	2	3
(9) 自己管理能力	<b>23</b>	21	2	1	7	6	1	2	<b>9</b>	6	0	1
(10) 多様な人々と協力して行動するチームワーク	<b>23</b>	19	3	2	<b>12</b>	4	0	0	<b>8</b>	6	0	2
(11) 自ら学習を続ける生涯学習力	<b>24</b>	22	0	1	7	7	1	1	<b>13</b>	1	1	1
(12) 社会に貢献できる社会的責任	17	<b>26</b>	2	2	7	6	3	0	<b>6</b>	5	4	1
(13) リーダーシップ	6	<b>25</b>	12	4	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	0	<b>5</b>	5	3	3

### Q7、本学での学生生活に対する満足度

- 1、満足している                                 2、どちらかといえば満足している  
 3、どちらかといえば満足していない       4、満足していない                         5、参加・履修していない

※(6)～(9)について、参加または履修していない方は、【参加・履修していない5】を選択。

- 項目
- (1) 教育内容全体
  - (2) 学修に関わる施設、設備、備品
  - (3) 卒業後の進路におけるキャリア支援体制
  - (4) 教職員のサポート体制
  - (5) 人間関係、環境を含む学生生活全般について
  - (6) ウィーンアカデミー研修
  - (7) 【演奏演習】におけるハンガリー大使館訪問及びフィルムコンサート(大学)
  - (8) 【演奏演習】におけるグランツァール収録によるフィルムコンサート(短大)
  - (9) PACS履修科目【THE 業界人】
  - (10) PACS履修科目【卒業研究発表】

項目	大学				短大				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 教育内容全体	24	<b>25</b>	5	2	<b>4</b>	<b>4</b>	0	0	<b>3</b>	<b>3</b>	1	0
(2) 学修に関わる施設、設備、備品	17	<b>22</b>	15	2	<b>5</b>	1	2	0	<b>4</b>	2	2	0
(3) 卒業後の進路におけるキャリア支援体制	16	<b>24</b>	12	1	<b>4</b>	2	0	0	2	<b>4</b>	2	0
(4) 教職員のサポート体制	<b>32</b>	17	5	2	7	1	0	0	<b>5</b>	1	2	0
(5) 人間関係、環境を含む学生生活全般について	20	<b>26</b>	7	2	<b>5</b>	2	1	0	<b>5</b>	2	1	0
(6) ウィーンアカデミー研修	<b>20</b>	17	2	2					<b>5</b>	1	0	0
(7) 【演奏演習】(大学、短大)	17	14	7	2	<b>5</b>	2	0	0	1	0	0	0
(8) PACS履修科目【THE 業界人】	<b>13</b>	5	2	0					1	0	0	0
(9) PACS履修科目【卒業研究発表】	<b>16</b>	3	1	0					1	0	0	0

※「5参加・履修していない」を選択及び「未回答」を除いた有効回答

昨年比では、大学においては、従来の形式に近い実施となった「ウィーンアカデミー研修」の満足度が高い結果となった。また、「演奏演習」では、「満足している・どちらかといえば満足している」31件に対し、「満足していない・どちらかといえば満足していない」は9件であり、昨年よりも満足度が高い結果であった。(昨年「満足している・どちらかといえば満足している」21件、「満足していない・どちらかといえば満足していない」12件)。例年のような海外渡航には至らなかったが、本年の代替プログラムが一定の満足度に寄与したといえる。短大における「演奏演習」では、昨年に続き沖縄での演奏が実現し、「満足した」と「どちらかといえば満足した」の差が3ポイントであり、「満足した」の割合が増加傾向となった(昨年は1ポイント差)。PACSにおいては、昨年はコロナ禍による授業形態の変動の影響を受けた可能性が推察され、減少傾向であった「THE業界人」「卒業研究発表」の満足度は、本年は増加傾向となり「満足した」が両項目とも最も高い結果となった。

【参考：昨年(2021年度)回答集計】

項目	大学				短大				大学院			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
(1) 教育内容全体	15	<b>25</b>	5	1	<b>9</b>	7	0	0	<b>12</b>	3	0	1
(2) 学修に関わる施設、設備、備品	15	<b>21</b>	8	2	4	<b>9</b>	3	0	<b>11</b>	4	1	0
(3) 卒業後の進路におけるキャリア支援体制	<b>16</b>	<b>16</b>	11	2	4	<b>10</b>	2	0	6	<b>7</b>	2	1
(4) 教職員のサポート体制	<b>27</b>	15	2	2	<b>9</b>	6	1	0	<b>11</b>	4	1	0
(5) 人間関係、環境を含む学生生活全般について	19	<b>22</b>	2	2	<b>10</b>	5	0	1	<b>9</b>	5	2	0
(6) ウィーンアカデミー研修	4	8	8	<b>12</b>	2	<b>5</b>	0	2	<b>6</b>	1	4	4
(7) 【演奏演習】(大学、短大)	5	<b>16</b>	8	4	7	6	1	0	2	1	0	1
(8) PACS履修科目【THE 業界人】	<b>4</b>	2	3	0								
(9) PACS履修科目【卒業研究発表】	3	1	<b>4</b>	1								

### Q8. 卒業後の就業予定(複数回答者)

クロス集計用のため、省略。

### Q9. 印象に残っている科目や活動(自由記述、全掲載)

大学

- 1 ウィーン研修が特に印象に残りました
- 2 実習
- 3 実習を2年間通して行えたのはよかった。対面やZOOMなどのいろいろな方法での音楽療法を実践できたので勉強になったと思う。

- 4 音楽療法の実習で対面とオンライン・オンデマンドなどのさまざまな形式をやらせていただいたこと
- 5 学内演奏会
- 6 専攻実技、ウィンドオーケストラ、オーケストラの授業を通して実技の向上、音楽的感性の向上を実感し他の分野、社会性や人間性の向上が見られとても充実した時間を過ごせた。
- 7 学内演奏会、プラス、オケ
- 8 楽しみ
- 9 オペラ研究
- 10 ウィーン研修です。海外に行くのが初めてだったので、とても貴重な経験となりました。レッスンによって音色が変わったり弾き方がよくなったりしたので行って良かったです。
- 11 ウィーン研修では、日本と感覚や食べ物など違うことが多く、それが逆に自分の新しい音楽の感性を感じる事が出来た。いろいろ新しい発見があった。
- 12 ウィーンでの研修。
- 13 自主公演等の演奏会。音楽音響メディア論。
- 14 教務の方々、引き継ぎちゃんとしてください。わかっている人とわかっていない人の差が明らかです。
- 15 ウィーン研修についてとても印象に残っている。音楽を楽しむことをあらためて肌で感じた。
- 16 オーケストラフェスティバル
- 17 ウィーン。演奏演習。
- 18 ウィーン。プラス。
- 19 ウィーン。
- 20 演奏演習。異文化コミュニケーション英語。
- 21 音楽療法実習。卒業論文。
- 22 学内演奏会。
- 23 打楽器自主公演
- 24 民族音楽学
- 25 教材伴奏法。伴奏のみでなく、教師としての心構えや必要な知識等を修得できた。とてもよかった。
- 26 オペラ研究の授業では、声楽専攻の先生方に、丁寧にご指導いただくことができ感謝の気持ちで心がいっぱいです。
- 27 オペラ研究の授業
- 28 ウィーン研修。レッスン。
- 29 ウィーン研修
- 30 学園祭など
- 31 東邦ミュージックフェスティバルでのピアノアンサンブル(二台ピアノ、連弾)
- 32 ウィーン研修がとても印象に残っています。私にとってとても大きな経験になりました
- 33 教職インターンシップ。教職総合科目。ウィーン研修。オーケストラ。
- 34 東邦ミュージックフェス。ミュージカル演習。ライブ実習。卒業制作等。ステージをつくる実習がとても印象に残っています。
- 35 ライブハウスでの演奏
- 36 卒業制作発表
- 37 ライブ実習。卒業制作。
- 38 ウィーン研修。演奏演習。教職インターンシップ。
- 39 Konzertfachの演奏会やウィーン研修は自分の技術を最も高められました。今後も演奏家の育成に向けてこのコースと科目は残っていてほしい

#### 短大

- 1 日本クラシック音楽コンクール 一般の部入賞。国際声楽コンクール 入賞。
- 2 声楽
- 3 演奏演習は、とても印象に残っている科目です。同級生と一緒にゼロからつくりあげた演奏会はほかのものにもかえがたい記憶・思い出として残りました。
- 4 演奏演習。ピアノアンサンブル。即興演奏。ピアノ指導。東邦ミュージックフェスティバル(ピアノアンサンブル、演奏演習)
- 5 定演。トライアルコンサート。演奏演習。レッスンマネージメント。
- 6 演奏演習。アンサンブルの授業。
- 7 演奏演習。

#### 大学院

- 1 ウィーン研修での学びは、特別でした。アカデミーの環境はもちろんのことレッスンでの充実さがなによりもうれしく刺激をうけました。また、舞台上で歌う機会が多く毎日が自身の音楽と向き合う時間で宝物になりました。
- 2 ウィーン研修が本当によかったです。もっとたくさん学びたいと思いました。
- 3 専門の文献講読ができたことは修士論文作成に有意義でした
- 4 大学院に進学し知識や好奇心などどんどん増えていく過程が楽しく充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。
- 5 アンサンブル表現研究。
- 6 レッスン。オーケストラ。

#### Q10、本学へのご意見・ご要望など。(自由記述、抜粋掲載)

#### 大学

- 1 教務？事務？からの連絡があやふやなことが多く混乱することが多々あったように感じます。
- 2 教務の人、もう少し優しく対応してほしいと思います。
- 3 練習室が少しでも安く使えるようになれば良いと思います。ピアノ科もレッスン室が使えるといいなと思います。
- 4 MTのピアノの調律をおねがいします
- 5 事務局の雰囲気や教務の対応が最低だったため、今後は生徒にかける言葉や態度をあらためてほしい。
- 6 4年間、音楽大学で音楽の勉強をさせていただきまして誠にありがとうございました。
- 7 留学のサポートセンターがあると良い。留学についてわからないことが多々あったので。
- 8 4年間ありがとうございました
- 9 川越CPとPACSの距離感があることにいつもさみしいなと思っていました。同じ大学の学生としてCPやジャンルは違いますが、交流する機会や存在だけでも知ってくれたらうれしいです。

#### 短大

- 1 合唱にも、もう少し力を入れてほしいと感じました。もう少し本気でとりくめる雰囲気づくりをしたかったです。

- 2|ピアノの調律をちゃんとしてほしい。音楽系科目をもっと充実させてほしい。
- 3|授業や学習環境はすばらしいと思います。就活への意識などキャリア教育の拡充を望みます。

#### 大学院

- 1|少人数制ということもあり、先生方との距離が近いことがとても心強く感じました。
- 2|本当にいままでありがとうございました。
- 3|多くの楽器をもつ学生のウィーンアカデミーはむこうで楽器の用意がほしいです
- 4|東邦はとてもよい学校だと思います。先生はとても責任感があります。

昨年は連絡事項に関する方法やスピードについての記述が9件あったが、本年は同様の記述は見受けられなかった一方、事務局に関する記述が見受けられたため、今後の課題としたい。